



発行所：特定非営利活動法人ベトナム子ども基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話/FAX：03-3945-2415

E-メール：info@v-c-f.org ホームページ：http://www.v-c-f.org/

ベトナム子ども基金通信

No.53
2011.6.4



ドンズー日本語学校の生徒さんたちが日本への義援金を送ってくれました

ベトナムの子どもたちを支援してくださる皆さまへ

東日本大震災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。このニュースは、こちらでも連日報道されています。3月11日の地震に始まり、信じられないような津波被害の映像も流れています。また、福島原子力発電所での放射能漏れ事故もベトナムでは注目のニュースです。

日本から技術支援を受けて原子力発電所を建設しようとしているベトナムにとって、他人事のニュースではありません。現在も被災地では、物資の輸送が大変で、ガソリン、食料などが不足していると聞いております。氷点下の中、暖を取ることもできずに、不安な夜を布団の

中でうずくまるように過ごされている方が大勢いると思います。長い間お風呂にも入ることができない人がいるとも聞いています。被災地の方々には本当につらい思いをしていると考えると涙が出てきます。貧しいですが、毎日ご飯を食べることができただけでも、私たちは幸せだと、心から感じています。

そんな大変な状況にもかかわらず、日本人の秩序ある行動、冷静さには本当に頭が下がる思いで、感動いたしました。今まで、私たちは日本の友人に多くの助けをいただけてきました。今度は、私たちが日本の皆さまに恩返しするときです。私たちは、裕福ではありませんから、

大きなことはできません。でも、気持ちだけでも被災地で頑張っている方々に届け、少しでも被災地の方を勇気づけることができれば、こんなにうれしいことはありません。

今、日本は大変な時期だと思われていますが、日本全国の皆さまが一致団結して、日本を復興し、頼れるアニキとして甦ることを信じています。遠くからですが、ひとりでも多くの方が無事でいらっしやることを心からお祈りしております。

2011年3月24日

ベトナム青葉奨学会

代表 グエン・ドク・ホウエ

東日本大震災 仙台最初の2日間

3月11日午後3時ごろ、巨大な地震が起き10分間ぐらい揺れていた。立つことができないほど強く揺れていた建物の中で、みんな机の下に入り込んで座ったままだった。大きな揺れが終わったところで、みんなが速やかに外に出て安全な場所に移動した。そのとき、火災などの2次災害を避けるために、ガスと電気が自動的に切れた。携帯電話も通話はできなくなったが、メール送信とワンセグテレビが視聴可能だった。1時間後、津波が東日本の沿岸に到達し、沿岸の家と車を破壊している様子をテレビの生中継で見た。3時間たったくらいに、会社や学校の担当者が状況をみんなに知らせ、安否情報を確認した後、解散の指示を出した。道路が破損した可能性があるので、車を使わないで歩いて家に戻ることを勧告された。強い雪が降っている中、長い列になり静かに人々が歩いて帰って行った。電気が止まったので、スーパーやショップも通常のように営業できなくな

り、緊急用食品だけを配っていた。住宅区域によって違うが、ほとんどの家が地震の影響もなく倒れてはいなかったのに、都市ガス、電気、水道が止まった。人々が布団や個人の物を携えて近くの避難所に運んでいた。避難所とは震災が起こったとき、近くの学校の体育館や市民センターに設置されている緊急避難場所である。そこに緊急用ストーブや食料が用意されたが、今回の大規模な震災で集まってきた人が多すぎて全然足りなかった。そのため子どもや老人の方が優先された。その夜、絶えず起こる余震だけでなく、東北の寒さの冷え込みにも耐えながら多くの避難所の人々が寝た。

3月12日、晴れ。前日のような道路の渋滞がなくなり、一晩休んで地震の規模の大きさを認識した。仙台に住んでいるベトナム人が互いに連絡を取り始めた。避難所での生活は不便であるし、日本の人たちの負担を軽減するためにもベトナム人がひ

とつの場所に集まって互いに助け合うようにと決定した。集合した場所はもともと何人かのベトナム人の住む賃貸アパートで、広くて水もまだ使われていた。長期間保存できる食品はあるので、一番大切なのは飲み水だ。その日の午後には、私たちベトナム人は5日分の食料と生活するための部屋の準備を完成させた。その後、電気とガスが止まり余震は続いていたが、ベトナムのみんながこれから続く避難生活の日々を安心して過ごせるよう願いながら寝てしまった。

グエン バン キー
(Nguyen Van Ky)
東北大学4年(当時)
現在東工大修士課程



がれきとなった家の前で(4/21名取市)

今井記念海外協力基金 ベトナム現地調査報告

4月26日から5月3日まで、「今井記念海外協力基金」の助成を受け、ベトナム現地調査に行ってきました。この基金は、故・今井保太郎氏が、購入した土地が高騰して売れたことに「不労所得は社会に還元するべき」として、1977年に創設したものです。その目的は、開発途上国における教育、医療等の振興、災害被災者の救済活動を行う市民組織に対し資金助成を行い、途上国の発展に寄与することです。

同基金からは、以前にも小学校設備補修の助成を受けましたが、今回申請した事業は「ベトナムの就学困難な子どもたちへの奨学金支給のためのスタッフ人材育成と基盤強化」で、51万円が助成されます。

その内容は、懸案である里子との手紙交換の迅速化と里子情報のデータベース化を主とするものです。そのために、各地にスキヤナを設置し、それで手紙を画像として取り込み、パソコンから送信、原文が届く前に先

行して翻訳を進め、少しでも手紙のやりとりの遅れを改善しようというものです。

今回の現地調査では、スキヤナを現地で購入し、各奨学会への設置・操作指導、そして里子への訪問調査および新たな支援対象の調査も行いました。訪問地は、ホーチミン、ダナン、ハノイ、タイビン、ナムディン、ビンロン、ロンアン、チャビンで、行ける限り回ってきました。

各地で、奨学会の方々、里

子、元里子とそこご家族、現地協力者、さらに帰国中の留学生たちとも交流することができ、なかなかきつい行程ではあったのですが、とても楽しく有意義な調査となりました。

南部、北部、中部、そして大都会、地方と回ってみて、毎年訪問するたびに発展変貌する大都市に驚く一方、対照的に「発展」から取り残されている地方・田舎の実態を目の当たりにしました。その風景は、私には古き日本を思い起こす懐かしいものですが、そうした憧憬をはばかり厳しい現実があることも確かです。

そんな中、とても素晴らしい先生に出会いました。

青葉奨学会のホウエ先生から、前にテレビで紹介されていた「学校」に行ってみたら、という提案を受け、急ぎよ訪問を決めました。チャビン省で学校に行けない貧しい子どもたちにボランティアで教えている、サウ先生の「愛の学校」です。

授業は、12歳から17歳までの

生徒18人を、彼女ひとりでひとつの教室で教える「複式学級」です。勉強だけでなく、しつけや礼儀も教えるサウ先生は、子どもたちが大人になって遊びに来てくれたり、11月20日の「先生の日」にプレゼントをもらったりするのが、とてもうれしいと話していました。

しかし、築100年にもなる自宅を使った教室の机や椅子はかなり傷んでおり、テキストやノートも十分ではありません。また、昨年までは97歳の母親と2人で教えていましたが、母親が亡くなってからは、70歳を過ぎたサウ先生おひとりで教えています。さらに、後継者も見つかっていません。

ホーチミンに戻り、ホウエ先生と相談したところ、この後継者問題、そして設備、教材等について、ベトナム子ども基金と青葉奨学会で、なんらかの支援をしていきたいという話になりました。

まだまだ地方では（大都会の中でさえも）、貧しくて学校に

行けない子どもたちがたくさんいます。サウ先生の教え子の15歳の子が、ハノイで会った13歳の子より、体格でずっと年下に見えたのが印象的でした。発展し続けるベトナムでは、富裕層と貧困層、都市と地方での格差は、ますます広がっているようです。今後も、こうした子どもたちへの支援を続けていきたいとの思いを強くしました。皆さまには、これからもご支援をどうぞよろしくお願いいたします。また、「愛の学校」への支援が決まったら、ご協力をぜひお願いします。

くろは ひろし
(黒羽 宏)



「愛の学校」のサウ先生

2011年定期会員総会について（通知）

会員各位

特定非営利活動法人ベトナム子ども基金
代表 近藤 昇

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素はベトナム子ども基金の活動に温かいご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。さて下記の通り2011年定期会員総会を開催いたします。ご多忙中恐縮ですが、ご出席いただきたくご通知申し上げます。なお、会員総会は正会員（里親基金会員、一般基金会員）の2分の1以上の出席をもって成立します。当日総会にご出席にならない方で委任状の提出のない方は、ご意見を議長に一任したものとさせていただきます。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。同封の「出欠はがき」に必要事項をご記入の上、お手数ですが、切手を貼って、6月14日（火）必着でご返信ください。敬具

日時 2011年6月18日（土）午後2時から4時
場所 アジア文化会館・教室
議題 1号議案 2010年度活動報告
2号議案 2010年度決算報告および会計監査報告
3号議案 2011年度活動計画案
4号議案 2011年度予算案
5号議案 役員人事

総会終了後、グエン・クワン・フンさんにスピーチしていただきます。またその後懇親会を予定しております。ベトナムコーヒーを用意しておりますので、皆さま交流を深めて楽しいお時間をお過ごしください。お菓子、おつまみ、お酒などをご持参いただければ幸いです。よろしく申し上げます。

■ベトナム子ども基金2010年度活動報告

2010年にベトナム子ども基金が受け持った青葉奨学生（里子）は404名でした。会員の皆さま、ご支援ご協力くださった皆さまに心よりお礼申し上げます。2011年2月15日に、4,576,540円を青葉奨学会に送金しました。その内訳は青葉奨学金と管理費3,523,000円、黄梅奨学金300,000円、春の木運動協力寄金712,000円、ドンタイン小学校ノート購入費用41,540円です。今回の春の木運動は2011年1月の呼びかけから、2月22日までの間に多くの皆さまにご協力いただきました。2月15日の送金に間に合いませんでした寄金につきましては、次回送金時に合わせて送る予定です。この寄金で大雨災害によって被災した、中部、北部地域の児童生徒を対象に支援を行いました。

「ベトナム子ども基金通信」は49号、50号、51号、52号の4回発行し、皆さまに子ども基金の活動や、里子からの手紙などをお知らせしました。スタディーツアーは参加者6名で、11月20日成田発、ハノイ2泊、ホーチミン4泊、機中1泊で11月27日に帰国しました。ベトナム滞在中は、ハノイ、ホーチミンの両都市で青葉奨学会のスタッフや関係者をお会いし、里子とその家族と交流しました。また会員の支援で建設した学校や施設を訪問し、現地の人々との交流を深めました。

事務局運営会議は、原則として毎月第3土曜日の午後に行われてきました。ただし、2月は文京区国際交流フェスタ参加のため、開催しませんでした。また3月は3月11日に発生しました、東日本大震災の影響による交通機関の乱れや、参加者の安全確保が困難と判断し開催を中止しました。運営会議後に勉強会を開催し、ベトナム文化、社会に対する理解を深めるとともに、会員相互の交流を図りました。

2010年4月から2011年3月までに新しく入会された会員の方は里親基金10名、一般基金会員1名、賛助基金会員3名、個別黄梅基金会員1名です。今後とも末長いお付き合いをお願い申し上げます。

■ベトナム子ども基金2011年度活動計画

2011年に子ども基金が受け持つことになりました青葉奨学生（里子）355名が安心して学業に専念できるよう、奨学金支給事業を継続します。広く社会に活動を知らせるために、新しいパンフレットの作成と配布、ホームページの情報更新のスピードアップに努めます。そのためには、青葉奨学会と子ども基金の双方の事務運営の体制を強化し、また日越間の情報交換をスムーズに行う必要があると考えています。助成金の交付を受け、ベトナムの一部の奨学会に情報端末を設置し、それらが適切に活用されているか調査を行います。

里子たちとの手紙のやりとりは、昨年より状況が好転してきていますが、まだ満足のものではありません。上記の情報端末設置により、少しでも早く翻訳作業にかかり、よりスムーズに会員の皆さんにお届けするよう努力します。また翻訳ボランティアの皆さん、青葉奨学会スタッフと在日ベトナム人留学生の皆さんに協力をお願いします。今年の「春の木運動」は昨年、大雨による被害を受けた中部、北部地域の児童、学生を対象に支援を行いました。今年末からの活動は早めに呼びかけを開始し、厳しい経済状況の下で頑張っている子どもたちがお正月を迎えるため、少しでもお役に立ちたいと思います。

里子訪問スタディーツアーを今年も行う予定です。これまでのツアーを参考に、より充実した内容のツアーを行えるよう計画します。ツアーの詳細が決まり次第、皆さまにご連絡いたします。

「ベトナム子ども基金通信」は引き続き、子ども基金の支援の様子、里子たち生活の様子や、気持ちをできるだけお伝えしていきます。今年度も年4回発行を予定しています。事務局運営会議は、今年度も毎月第3土曜日に開催を予定しています。会議の後に、主にベトナム人留学生、社会人の皆さんからベトナムのさまざまな分野についての話や、異文化体験に基づいた話を伺い、参加者の間で歓談します。会員の皆さま、ご家族、ご友人の皆さまの参加をお待ちしています。



2010年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書
2010年4月1日から2011年3月31日まで

科 目	金 額 (単位:円)	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入	6,438,000	6,438,000
2 寄付金収入		
賛助金収入	291,100	
黄梅基金収入	390,000	
春の木運動収入	721,000	
寄付	7,976	1,410,076
3 その他収入		
利息収入	422	
前期繰入金	764,829	765,251
経常収入合計		8,613,327
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 奨学金事業費	3,523,000	3,523,000
(2) 支援事業費		
黄梅基金	300,000	
その他の支援	753,540	1,053,540
3 交流事業		
「通信」発行	249,131	
スタディーツアー	44,042	293,173
4 情報交換事業		
ABK 秋祭り等への参加	0	
ホームページの維持更新	6,238	6,238
2 管理費		
役員報酬	120,000	
家賃(会議費込み)	106,634	
備品・消耗費	83,857	
通信運搬費	169,777	
印刷製本費	29,475	
交通費	336,760	
雑費	21,470	
ベトナム送金手数料	9,500	
銀行振込手数料	1,155	878,628
経常支出合計		5,754,579
経常収支差額		2,858,748
当期収支差額		2,858,748
前期繰越収支差額		0
次期繰越収支差額		2,858,748

2010年度非営利活動に係る事業計貸借対照表
2011年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	27,780		
普通預金			
みずほ銀行駒込支店 (1)	1,054,327		
みずほ銀行駒込支店 (2)	20,008		
みずほ銀行駒込支店 (3)	0		
みずほ銀行駒込支店 (4)	3		
郵便振替口座 (1)	1,261,220		
郵便振替口座 (2)	20,000		
郵便振替口座 (3)	30,000		
郵便振替口座 (4)	10,000		
郵便貯金	435,410		
流動資産合計		2,858,748	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,858,748
II 負債の部			
負債合計			0
正味財産			<u>2,858,748</u>

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,858,748		
未収入金	0		
流動資産合計		2,858,748	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合			<u>2,858,748</u>
II 負債の部			
負債合計			<u>0</u>
III 正味財産			<u>2,858,748</u>

2011年度事業計画

2011年4月1日から2012年3月31日まで

1. 事業実施の方針

経済的理由等により教育を受ける機会に恵まれないベトナムの子どもたちに対して、奨学金を支給し、学校建設や教育施設・改修し、教育環境を改善していく。また、活動の様子を知らせるために通信を発行して、会員と関係者との交流に役立てる。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲および予定人数	支出見込み額(千円)
奨学金支給事業	ベトナムの子どもたちに奨学金を支給する。	2月	ベトナム全域	10人	就学が困難な児童生徒400人	4,800
学校建設、施設改修事業	学校建設および施設改修	10月 3月	ベトナム全域	5人	辺地の児童生徒500人	1,000
その他の支援事業	自然災害被災地域の小中学校、孤児院等への支援(春の木運動)	1月～2月	ベトナム北部、中部地域	3人	500人	500
交流事業	会員と関係者との交流のために「ベトナム子ども基金通信」を発行する。	2月、5月 8月、11月	法人事務局	5人	会員と関係者500人	200
	スタディーツアーを実行し、現地の学校および生徒たちと交流を図る。	10月～11月	ベトナム	3人	会員15人と生徒および学校関係者学級	50
情報交換事業	ABK祭り等に参加し、活動内容を紹介し、他団体との情報交換を行う。	9月～11月	東京都内	10人	一般市民不特定多数	30
	新しいパンフレットの作成およびホームページの充実を図り、活動内容を紹介し、国際交流の啓発を図る。	随時	法人事務局	3人	一般市民不特定多数	70
	日越間の迅速な情報交換体制構築のため、通信環境を整備する。	5月	ベトナム	3人	ベトナム青葉奨学会事務局と学校関係者10人	340
	日越間の通信環境改善事業に必要な調査および人材育成のための研修を行う。	随時	法人事務局およびベトナム	3人	法人事務局およびベトナム青葉奨学会事務局	370



2011年度特定非営利活動に係る収支予算書
2011年4月1日から2012年3月31日まで

科 目	金 額 (単位：円)		
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費収入	5,000,000	5,000,000	
2 寄付金収入		2,000,000	
賛助金収入	500,000		
黄梅基金収入	1,000,000		
春の木運動収入	500,000		
3 その他収入		3,369,748	
助成金収入	510,000		
利息収入	1,000		
前期繰入金	2,858,748		
経常収入合計			10,369,748
II 経常支出の部			
1 事業費			
(1) 奨学金事業費	4,800,000	4,800,000	
(2) 支援事業費		1,500,000	
黄梅基金による支援	1,000,000		
その他の支援	500,000		
(3) 交流事業		300,000	
「通信」発行	250,000		
スタディーツアー	50,000		
(4) 情報交換事業		810,000	
A B K祭り等への参加	30,000		
ホームページの維持更新	10,000		
パンフレット作成	60,000		
通信環境整備および研修現地調査	710,000		
2 管理費		645,000	
家賃	80,000		
備品・消耗費	40,000		
会議費	40,000		
通信運搬費	100,000		
印刷製本費	60,000		
ベトナム送金手数料	20,000		
銀行振込手数料	5,000		
交通費	300,000		
3 予備費	30,000	30,000	
経常支出合計			8,085,000
経常収支差額			2,284,748
当期収支差額			2,284,748
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			2,284,748

■役員人事について

現在の役員は2011年5月31日をもって任期満了（ただし定款により辞任、任期満了後においても、後任者が就任するまではその職務を遂行）のため、総会に先立ち、5月14日に行われた理事会において次期（第3期及び第4期）役員を選出しました。これまで副理事長を務めてきました中原和夫が退任し、新たに岡村進を副理事長に選出しました。岡村進の副理事長選出に伴い、新たに樋川好美を監事に選出しました。また、これまで6人であった理事を活動基盤強化のため1名増員、7名とし、新たに黒羽宏を理事として選出しました。定款により、役員任期は2013年5月31日までとなり、総会での承認後、役員就任となります。次期役員候補については以下の通りです。

理事長	近藤昇（再任）		
副理事長	岡村進（新任）		
理事	小木曾友（再任）	萩野正司（再任）	南康雄（再任）
	奥山義夫（再任）	黒羽宏（新任）	
監事	黒川厚雄（再任）	樋川好美（新任）	

また、事務局運営会議を構成する、事務局運営委員につきましては2011年5月31日をもって任期満了のため、5月21日に行われた事務局運営会議において、新たに次の12名を運営委員として選任しました。任期は2013年5月31日までとします。（順不同、敬称略）

事務局運営委員 近藤昇 中原和夫 南康雄 黒羽宏 本間きく 小河原理枝
奥山義夫 原二郎 今井幸恵 吉原とも子 グエン・クワン・フン
グエン・タン・フック 坂本亮子

ベトナムからの手紙

困難を乗り越えて

ルオン・ティ・ミ・リン

時の流れはとても速いものですね。つい最近私は大学に入ったばかりだと思っていたのに、今ではもう大学4年生で、あと2年余りで卒業です。よく考えてみると、自分はまだまだ未熟で、いろいろ勉強することがあり、これからさまざまな試練を乗り越えていかなければなりません。

残りの2年間の勉強は、私には知識を増やすためには短い時間ですが、両親には不安、心配、苦勞の長い時間です。故郷に帰るたびに、母の髪が白髪になっていき、夜眠れないためか目がしょぼしょぼになっていたり、父の顔がだんだんやつれて、黒

くなるのを見て、悲しくなります。考えれば考えるほど両親がかわいそうです。親の苦勞を減らすためには、私が大学を諦め、田舎に帰り、親を手伝った方がいいのではと思うときもあります。しかし私はまた考え直し、困難が多ければ、それを乗り越えなければならぬとも思っています。試練は人間を鍛え、また失敗は成功のもとだとも思っています。

今年、私は病院で実習を始めました。新しい出来事がたくさんあります。患者さんと接し、診察をします。先生方にいろいろ教えてもらっています。白いブラウスを着、ポケットに受信器、聴診器を持って、うれしくてたまりません。

実際に患者さんと接して、かわいそうに思うときもあります。私は神経外科を勉強しています。この間、ひとりのかわいい子を見ました。おばあさんが

おかゆを少しずつ食べさせています。まだ7歳なのに脳のがんを患い、危険な状態です。話すこともできず、手を握ることもできません。両親とおばあさんの目に涙が光っているのを見ると、とても悲しくつらいです。

またもうひとりの女性は19歳で、交通事故で、片足がまひしていますが、彼女はとても楽観的です。私は彼女の意志とその態度がうらやましくてなりません。私は自分が健康な体を持っているのをつくづく幸せだと感じます。

里親さまは私が中学からずっ



と支援してくださっています。本当にありがとうございます。里親さまは私の2番目のお父さん、お母さんのようです。心から感謝するとともに、これからもいろいろ里親さまと話したいと思っています。里親さまとご家族の皆さまの健康、成功をお祈りします。

恵まれない子どもの 支援をしています チャン・ティエン・フォン

私の手紙がお母さんの元に届いたら、お母さんもきっと驚くでしょう。時の流れはとても速いものです。お母さんからの最後の奨学金をもらってから4年になり、また私がオーストラリアに住んでから4年になります。何回もお母さんのことを考え、お母さんにお礼とあいさつの手紙を書きたいと思っていましたが、新しい環境、アルバイト、毎日の忙しい生活に追いかけていました。遠いところから私はいつもお母さんとご家族の皆さまの健康と平安をお祈りしています。

私の住んでいるところはゴールド・コーストで、日本の留学生と日本人観光客が大勢いる旅行者の町です。私も何人かのかわいくて、親切な日本人と友だちになりました。彼らと話すときにいつもお母さんのことを誇りに思いながら、お母さんが私に関心を持ってくれ、支援して

くれたおかげで、ベトナムの学校に通えたことを彼らに聞かせています。

海辺の小さいレストランでアルバイトをして、日本からの観光客を見て、ひよっとするとそのツアーのグループの中にお母さんがいるかもと自分で想像したりしています。この考えにはわれながらくすりとしてしまいました。いつか将来日本でお母さんに会える機会が来ることを望んでいます。

お母さんの支援、ありがとうございます。私もアルバイトで稼いだお金の一部を昔の私のような恵まれない家庭の子どもに支援しています。子どもからの手紙をもらったときは、とてもうれしいです。私が小さいときの素朴な手紙を読んでお母さんも同じ思いをしたのかなと思っています。

お母さん、私は結婚をしました。運命のようで、私の結婚の相手は初めてオーストラリアへ行く飛行機で会った人です。彼は偶然私の席のそばに座り、今もこれからのすべての便にずっと私のそばに座ります。

お母さんとご家族の皆さまの健康、幸福、平安をお祈りします。私が困窮していたときにずっと私を励ましてくださってありがとうございます。

お母さんとご家族の皆さまにいいことがありますようにお祈りします。

手作りのマフラーに 思いを込めて チャン・ティ・テン

長い間里親さまの支援を頂いていますが、里親さまへの手紙を書くのは久しぶりです。

まず、第4期の奨学金を頂い

たことを報告させていただきます。最近の大学での生活はあまり変わりありません。これから、もう1学期がスタートしようとしています。そして、私もいよいよ中等学校で研修(教育実習)を始める時期に入ります。それが終わると、学校の先生になりますよ。若い先生です(笑)。

先日、ベトナム子ども基金のスタディーツアーの方々がベトナムにいらっしゃり、私も交流会に参加させていただくことになりました。そこで、里親さまと会えるかと思ってわくわくしました。里親さまに今までの感謝の気持ちを直接に伝えることができれば、何よりだと思いました。そこで、手作りのマフラーを作ってみました。里親さまのお好みに合わないかもしれませんが、冬るとき、ちょっとでも里親さまの体を温めることができたらうれしいです。そのマフラーを見て、遠いベトナムにはいつも里親さまに感謝し、里親さまの幸福を願っている女の子がいることを思い出していただけたらよいなと思います。優しい里親さまのところにはきっと幸せしか来ないと思います。いつかベトナムに遊びに来てください。ベトナムはきれいで平和な国です。古くて安らぎのあるハノイはいつも里親さまのことを待っています。ベトナムなら、快適な旅を過ごすことがで



ハノイで元奨学生たちと



ロンアン省の奨学生たちと

きると信じています。

最後になりますが、里親さまとご家族の皆さまのご健康、ご幸福、ご成功をお祈りいたします。

日本の復興を お祈りします ヴー・マイ・フォン

私はヴー・マイ・フォンです。以前、里親さまからご支援をいただいていた。ご無沙汰しております。

今日私の学校で、日本で起きた東日本大震災の被災者への救援募金活動が行われ、初めて日本の大震災のことを知りました。私はインターネットのない環境に住んでいるので情報が入るのが遅いのです。お見舞いの手紙を差し上げるのが遅くなってごめんなさい。

今回の地震は巨大な被害を与えたと聞いたのですが、里親さまはご無事でしょうか？ 里親さまのことをとても心配してい

ます。マグニチュード(M)9.0の巨大地震の後、M6.0にも及ぶ余震が続き、日本を襲った天災がいかにも恐ろしいものであるかを知りました。

大地震発生からしばらく時間がたちましたが、日本にいる皆さまの生活は落ち着きましたか？ 被災地の方々に支給される緊急救援物資は不足状態になっていませんか？

里親さまの安否について、とても心配しています。お返事をお待ちしています。

私の学校では、日本の被災者に対する支援募金が行われています。わずかな支援金だと思のですが、被災者の方々を少しでも助けられたら幸いだと思っています。

「日本人は不屈の精神を持っている」ということを世界中の人が知っていてとても尊敬されています。ですから、日本はすぐに復興できるだろうと私は思っています。

里親さまのご無事とご健康を

お祈りいたします。

これまで奨学生として四半期ごとに里親さまのご支援をいただいていたのですが、今は大学生になったので、奨学金の支給対象外になりました（編集部注：奨学金の支給は基本的に高校卒業までです）。でも、里親さまのご恩は忘れません。これまでの感謝の気持ちを申し上げます。

里親さまとご家族の皆さまのご健康をお祈りします。日本の皆さまの1日も早い復興をお祈りします。



声援を送るドンズーの学生たち

(本文と写真とは関係ありません:編集部)

●事務局から

◆ご入金報告 ご支援ありがとうございます(順不同・敬称略) (「新」は新規会員)

2011年2月

2011年3月

2011年4月

春の木運動(追加分)

* お願い：通信送付の際の封筒宛名に、里親会員と一般会員になられている方には、会員番号と最終入金日が記入されています。年会費の納入をお忘れなきよう、お願いします。

◆ベトナム子ども基金会員募集！(友人・知人をお誘いください。ご協力をお願いします！)

里親基金：年額1口 20,000円 学生会員：年額1口 10,000円	特定の子どもの「里子」として奨学金を支給する「里親」になっていただきます。ベトナム青葉奨学会から、子どもと家族の状況を説明する履歴票が届き、里子との手紙のやりとりができます。
一般基金：年額1口 12,000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。通信を通じて会の運営報告、子どもたちの様子などをお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数などいっさい自由です。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設します。該当学校に青葉奨学金を併設することも可能です。
個別黄梅基金：1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立し、預金利子を奨学金とします。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上決定します。
ベトナム黄梅基金：1口10,000円	複数のベトナム子ども基金会員で基金を設立し、預金利子を奨学金とします。

ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座をお願いいたします。**NPO化で口座番号が変わりました**

口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ)：トクヒ)ベトナムコドモキキン

里親基金用(一般、賛助基金を含む)

郵便振替 00100-6-546799 銀行(みずほ銀行駒込支店) 普通1121865

黄梅基金用(個別寄付、学校建設を含む)

郵便振替 00130-4-552361 銀行(みずほ銀行駒込支店) 普通1121873

◆事務局だより

このたびの東日本大震災により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地、被災された皆さまの生活の1日も早い復興がなされることを、心よりお祈りいたします。

被災地域に居住されている会員の方について、個別にご存じない会員の皆さまからも安否のご心配や、お見舞いの言葉、さまざまなお心遣いを事務局までお寄せいただきました。巻頭に青葉奨学会代表のホウエ先生からのお見舞いの文章を掲載いたしました。そのほかのベトナムのスタッフや、里子たちからも多くの心配や気遣う声が寄せられています。

事務局につきましては、震災の影響による交通機関の乱れなどを考慮し、3月19日に予定しておりました事務局運営会議を中止させていただきました。里子の履歴票発送の遅れなどが生じ、会員の皆さまにご迷惑をおかけしましたことをおわびいたします。

4月より第3土曜日の事務局運営会議、および勉強会を通常通り開催しておりますので、ご興味をお持ちの皆さま、当基金発展のためのアイデアをお持ちの皆さまのご参加をお待ちしております。今後の勉強会の予定につきましては同封のお知らせをご参照ください。また、引き続き事務作業、発送作業、翻訳、イベントの企画等のお手伝いをしてくださる方を募集しております。

現在、事務局では会員総会の準備のほかに、新しいパンフレットの作成やスタディーツアー実施に向けての話し合い等を行っております。

そのほか、事務局や活動に関するご要望、お問い合わせもお待ちしております。なお、お電話でご連絡の場合は、留守番電話で対応させていただくことがありますが、その際は、お名前とご連絡先をメッセージに残していただきますようお願いいたします。事務局より、後日改めてご連絡差し上げます。(坂本)

ベトナムスタディーツアー2011のご案内

今年もベトナムスタディーツアーを予定しています。詳細は未定ですが、参加人数、参加者のご希望等をできる限り考慮してスケジュールを組みたいと思います。参加希望の方はまずはお早めにご連絡ください(未定の方も途中解約は可能ですので、同封の申込書でぜひお問い合わせ、ご予約を)。

期 間 10月から11月の5日間から8日間

訪問地 ハノイ含む中・北部(今回は中部、北部の田舎を回りたいと思います)

内 容 里子個別訪問、里子との交流会、学校・施設訪問、観光など

予 算 10万円前後(里子個別訪問別)

*このツアーでは、里子個別訪問以外は原則団体行動が主となります。個人での行動を主とした里子訪問旅行を別の機会にご希望の方は、別途ご相談いただければ現地での案内や紹介のお手伝いをいたします。

◆コストダウンのため今号より印刷会社を替え、紙質を替え一部カラーとなりました(カラーのほうが安い)◆